

レコード登録時の注意事項

これまでも、ニュースレター上で何度かお願いをしてきましたが、データベースの品質管理が相変わらず大きな課題となっております。不適當なレコード作成を防ぐため利用者の方々にはいまいちど以下の注意事項の確認をお願いいたします。

(1) 検索に関する注意点

ポイント 1

コード類(ISBN等)は、NCのレコード上に記載されているとは限らないので、コード類で検索して参照ファイルヒット、あるいはノーヒットの場合は必ず、他のキーで検索しなおすことが必要です。以下の例を参照してください。

和図書書誌検索・簡略表示

>:

TITLE=

AUTH =

AKEY :

ISBN:476796016 NBN:

NDLCN:

・ ISBNのみで検索してみる

↓ 送信

和図書書誌詳細表示

JP

1 / 1

>:

<GP05534353>

GMD: SMD: YEAR:1982 CENTRY: ja TTL: jpn TXTL: ORGL: REPRO:

VOL: ISBN:4767960169 PRICE:4200円 NBN:JP84007151

TR:米とその加工 / 倉澤文夫著 // コメント ソノ カコウ

PUB:東京 : 建帛社 , 1982.11

PHYS:406p ; 22cm

PTBL: 最新食品加工講座 <> //a

AL:倉澤, 文夫 // クラサワ, フミオ <>

参照ファイルヒットなので、BROWSE ↓

またはRETURNで検索画面に戻る

和図書書誌詳細表示

JP

1 / 1

>:BROWSE

<GP05534353>

GMD: SMD: YEAR:1982 CENTRY: ja TTL: jpn TXTL: ORGL: REPRO:

VOL: ISBN:4767960169 PRICE:4200円 NBN:JP84007151

TR:米とその加工 / 倉澤文夫著 // コメント ソノ カコウ

↓

和図書書誌検索・簡略表示

>:

TITLE=米とその加工 必ずいったん削除する

AUTH =

AKEY :

ISBN:

NBN:

NDLCN:

ISBNを削除し、タイトルの表示
形で検索しなおす

↓ 送信

和図書書誌詳細表示 NC 1 / 1
>:
<BN01375059>
CRTDT:19871021 RNWDT:1990302 RNWFA:FA003443
GMD: SMD: YEAR:1982 CENTRY: ja TTLL: jpn TXTL: ORGL: REPRO:
VOL: ISBN: PRICE:4200円
TR:米とその加工 / 倉澤文夫著 // コメント ソノ カコウ
PUB:東京 : 建帛社 , 1982.11

- ・ 今度はNCにヒットしたが、ISBNのフィールドをみるとデータが入っていない。
 回目の検索ではISBNでもヒットするように手元の資料のISBNを追加しておく
 のが望ましい。

ポイント 2

当日登録分のレコードについては、出版年、出版社等の検索キーが作成されて
いませんので、最初の検索キーにこれらのキーを選択しますと、当日登録分の
レコードが検索されません。これらのキーは、いったんヒットレコードの集合
を作ったあと、しばらくこみをする場合に使って下さい。

和図書書誌検索・簡略表示
>:
TITLE=じょうほう にほんじん
AUTH =
AKEY : ISBN: NBN: NDLCN:
PUB= YEAR:1992

- ・ タイトルと出版年を最初から同時に
 検索キーとして入力する ↓送信

和図書書誌詳細表示 TRC 1 / 1
>:
<GW03960199> RECST:n
GMD: SMD: YEAR:1992 CENTRY: ja TTLL: jpn TXTL:jpn ORGL:
VOL: ISBN:481070341X PRICE:\$5300
OTHN:JLA:92028337
TR:情報と日本人 / 野村雅一編 // ジョウホウ ト ニホンジン

- ・ 参照ファイルヒットなので、BROWSE
 またはRETURNで検索画面に戻る

和図書書誌詳細表示 TRC 1 / 1
>:BROWSE
<GW03960199>
GMD: SMD: YEAR:1992 CENTRY: ja TTLL: jpn TXTL:jpn ORGL:
VOL: ISBN:481070341X PRICE:\$5300
OTHN:JLA:92028337
TR:情報と日本人 / 野村雅一編 // ジョウホウ ト ニホンジン

↓送信

和図書書誌検索・簡略表示
>:
TITLE=じょうほう にほんじん
AUTH =
AKEY : ISBN: NBN: 削除
PUB= YEAR: ↓ NDLCN:

- ・ YEARを削除し、タイトルのみで検索
 をしなおす ↓送信

和図書書誌詳細表示 NC 1 / 1
>:
<BN08069822>
CRTDT:19921001 CRTFA:FA003512 RNWDT:19921001 RNWFA:FA002512
GMD: SMD: YEAR:1982 CENTRY: ja TTLL: jpn TXTL: ORGL:
VOL: ISBN:481070341X PRICE:5459円
OTHN:JLA:92028337

- ・NCのデータを見ると当日登録されたものであることがわかる
- ・YEAR, PUBのデータは登録の翌日から検索が可能になる

ポイント 3

一度の検索で、親書誌のタイトルと子書誌のタイトルを同時にキーとして入力しますと参照ファイルにしかヒットしません(子書誌レコードのPTBLからは、検索用のキーは作成されていません)。片方ずつの検索をお願いします。

ポイント 4

レコード上の記載、あるいは検索キーのつづりが誤っていた場合はヒットしません。洋書等の誤りやすいタイトルは、前方一致検索だと効率が上がります。和書の場合は使用漢字の字体の相違がこれに相当します。NCに該当レコードがヒットしない場合には、ヨミ、漢字(表記形)、各々の前方一致等、当該書誌について最もゆれが少ないと思われる検索キーを採用してください。

ポイント 5

リンク先のレコードを探しに行く場合では特に、LINKTO PARENTに御注意下さい。システムの方で自動的にAKEYも作成し、検索の条件としては、タイトルキーとAKEYのかけあわせになっています。NCにヒットしなかった場合は、必ずBROWSEで検索画面に戻り、AKEY削除、タイトルキーの変更など、通常の書誌検索の要領で必ず再検索をお願いします。

(2) 書誌の同定、採用に関わる注意点

ポイント 6

「目録情報の基準」に拠りますが、他にこのニュースレター上でも実作業中でてくる問題点、疑問等にお答えしています。最近増加している「刷り」毎の書誌事項の相違による新規作成は、版の相違と見做せるほどの改訂事実が確認出来た場合にはあり得ますが、そうでない場合には重複書誌と見做されますので、御注意下さい。刷りの相違で新規にレコードを作成する場合は、改訂の内容を注記する、EDに刷りの情報を記述するなどして前の刷りとのちがいをレコード上明確にしておくことが必要です。

ポイント 7

「目録情報の基準 改訂版」、あるいはニュースレターでお知らせしているような新たな決定事項は、原則的にそれらが発行された後、新規作成されるレコードに適用されるものです。過去に登録が済んでいるものに関して、遡って修正することは現在も継続している書誌等を除いては行っておりません。殊に修正の結果 階層の取り方が異なってしまうような書誌については、後の調整に時間がかかることがあり、他の接続館に迷惑をかけることがありますので御注意下さい。ただし、所蔵館間で合意のあったものについてはこの限りではありません。

(3) 流用入力時の注意点

ポイント 8

参照レコードを流用して総合目録に登録する場合には、必ず手元の資料に基づいて修正してから登録することになっていますが、最近、何ら修正することなくそのまま登録している例が見受けられます。特に、書誌階層を「目録情報の基準」に合わせていない例や、CIPデータに対してのデータの追加や修正が行われていない例が目立ちます。このようなデータは後で利用する際、書誌の同定が困難になる等、非常に不便ですので注意してください。

(4) コマンドの操作に関する注意事項

ポイント 9

依然として、EDITとCOPYの混同によると推定される重複レコードが目立ちます。この誤解は既成書誌の全く異なる書誌への書き換えや、単純な重複レコードの作成に即つながりますので、各機関の目録担当者はテキスト、マニュアル等で各コマンドの再確認をお願いします。

(5) 著者名典拠レコードの作成時における注意点

ポイント 10

現在登録されている典拠レコードの中には、HDNGに採用した著者名の表記やヨミ等の根拠となった情報源が記入されていないものが見受けられます。これらはリンク形成の際の同定を難しくしている一因となっています。典拠コントロールの効果を上げるために、新規作成時には必ずレコードのデータ内容が何に拠ったのかをNOTEに注記するようにしてください。

(6) その他の注意事項

ポイント 11

不要なレコードを作成してしまった場合は、その場で所蔵レコードをWEEDし、書誌レコードを「削除予定レコード」に書き換えるようお願いします。レコードが登録されるのは、新たにCREATEした場合はREGISTERコマンドを発行した瞬間ですので、書誌レコードのみの場合でもお忘れのないよう御注意下さい。

ポイント 12

ニュースレターNo.21 p.12「分類・件名等の取り扱い」において、既にあるデータを各大学側の都合で削除してしまうことは慎んで下さい、と注意を喚起しました。このほか、流用入力を行う際にも参照レコード上にある、総合目録上でも利用可能なデータを削除してしまうことのないようご注意ください。

(7) 重複レコードの処理状況

平成4年4月1日から平成4年9月24日までの、重複レコードの統合処理及び削除予定レコードの削除処理は以下の通りです。

	重複レコードの統合処理		「削除予定レコード」の削除	
	統合済	調整中	削除済	調整中
和図書	758	218	937	50
洋図書	210	37	1,116	48
著者名典拠	124	0	0	0
合計	1,092	255	2,053	98

※処理の内容について

- ・調整対象レコードは、参加館からの報告とともにセンター内でのデータチェックによるものも含めてあります。
- ・「調整中」の状態とは、以下のようなレコードを指します。
 - 1 情報源の確認依頼中
 - 2 FAX、ニュースレター等で所蔵レコードの付替を依頼中機械処理の結果につきましては、後日各参加機関に報告の予定です。

今回も、重複レコードの報告、情報源の送付など多くの図書館の方々からご協力を頂きました。ありがとうございました。
今後とも書誌調整へのご協力をお願い致します。

雑誌目録システムの運用の一時変更

学術雑誌総合目録欧文編全国調査の実施に伴い、次の2点に限り雑誌システムの運用を変更します。変更期間は、全国調査期間中(現在から平成5年4月まで)のみとします。

1. レコード作成日が1992年7月31日以前の洋雑誌の重複レコードを見つけた場合は、「削除予定レコード」処理せずに、センターに「目録情報に関する質問書」と画面のハードコピーを添えて報告して下さい。
2. 全国調査用のための所蔵データ提出を磁気テープで行う参加館で、過去に磁気テープの提出を行ったことがない場合は、データロードを円滑に行うため事前にテストデータを雑誌目録情報係に送付してください。

ILLに関する質問書から

1 HMLID、HMLNMの入力について

総合目録データベースにない資料を依頼する際、HMLID(所蔵館コード、FA番号)とHMLNM(所蔵館略称)を入力してORDERすると、エラーが出てしまうことがある。なぜか?
また、この場合、HMLIDやHMLNMは1フィールドしかないが、次候補館のデータを入力することはできるのだろうか。

所蔵館に関する事項でORDER時の必須項目はHMLIDだけです。HMLNMは空白のままでも、HMLIDのFA番号に対応する略称が自動的にセットされるようになっていきますので、HMLIDについてだけ正しい値を入力すればよいということになります。

このケースでは、HMLNMに入力した略称が、HMLIDのFA番号に対応する正しい略称とくいちがっていたためにエラーとなったものです。HMLIDに入力するFA番号については、前号(No.35)巻末に掲載している参加組織ID一覧表を参照してください。なお、SSTAT=Nの所蔵館を指定した場合も同様にエラーメッセージが出ますのでご注意ください。

また、HMLID~RGTNまでの所蔵事項は最大5回まで繰り返しが可能です。この場合も、フィールド追加(→マニュアルp.17)で5館分のフィールドを作成することができます。その際、LOCやCLN等を入力する場合は必ずHMLIDと対にして入力してください。

2 LOC(配置コード)による所蔵館の限定について

所蔵館選定の際、図書館所蔵のものと研究室・資料室等の所蔵のものを識別したいのだが、配置コードレベルで所蔵館を限定する方法はあるのだろうか。

LOC(配置コード)による限定として、以下の2つの方法があります。

(1) LOCフィールドによる検索

総合目録データベースではLOCフィールドに実際に資料を所蔵している館室等の名称(配置コード)を入力します。したがって、所蔵検索・簡略表示画面でLOCフィールドに「図書館」と入力すると、配置コードが「図書館」の所蔵レコードだけに限定できます。

ただし、配置コードは各参加組織で設定が違っていますので、検索には注意が必要です。例えば、図書館所蔵のものでも、LOCが「図」「図書館」「本館」等といった異なる表記であったり、あるいはLOCが空値(空白)であったりというように各参加組織間で統一が取れているとは限りません。

(2) SCANコマンドによる限定

SCANコマンドによる限定ですと、OR検索(論理和検索)や前後方一致検索が可能です。「SCAN LOC=☒ OR LOC=本館」というように指定すると、上述のLOCの表記のゆれをある程度、カバーできます。

○ 受付館に関する事項

3 同一依頼館、同一申込者のレコードの限定について

MDIで同一依頼館、同一申込者のレコードをまとめてSENDしたいのだが、必ずしも同一依頼館、同一申込者のレコードが連番になっているとは限らない。現在のところ、MDIはとび番での指定ができないので、このような場合、1件ずつSENDせざるを得ない。システム改訂まで、この方法でやるしかないのだろうか。

SCANコマンドを使えば、同一依頼館、同一申込者のレコードの限定が容易にできます。「SCAN OMLNM=○○ AND CLNT=△△」というように指定すれば、特定の依頼館、申込者のレコードの集合ができますので、そのままMDIで一括してSENDすることが可能です。(→マニュアルp.79)

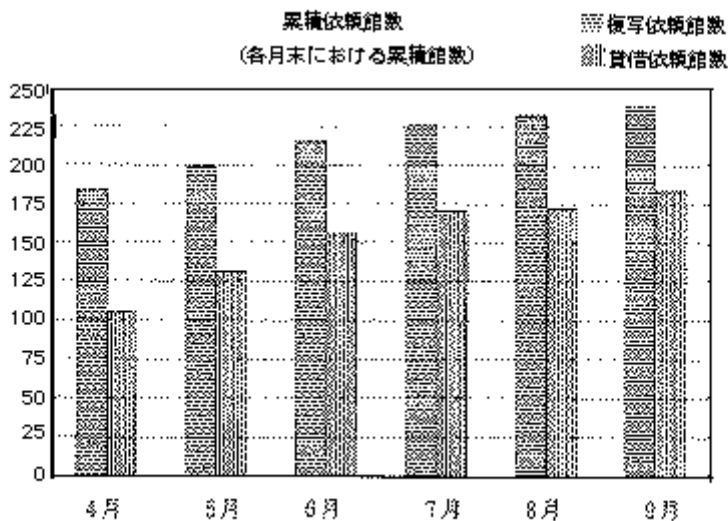
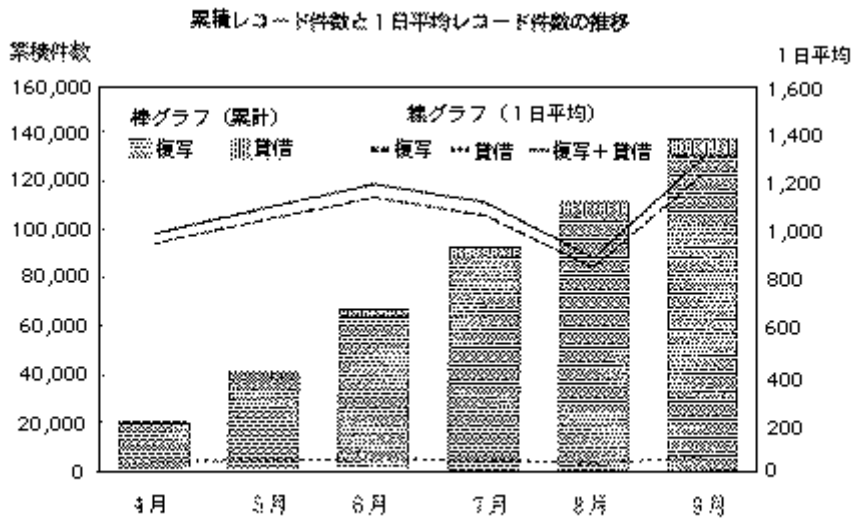
その他にもSCANコマンドで様々な条件の限定が可能です。SCANコマンドで指定できる項目については、マニュアルp.105の表にある「画面項目名」を参照してください。また、SCANコマンドでは複数の条件の組み合わせによる限定も可能です。(→ マニュアルp.59~60、82~83)

ILLシステム統計

9月30日で、ILLシステム運用開始後、半年が経過しました。ILLレコード件数の推移を月別にみると下図のようになります。

一日の平均作成レコード件数を、4月から6月までと夏季休業期間を除いた9月を比較してみると順調に件数が伸びていることがわかります。

また、毎月第4木曜日の翌日に件数が多いことが注目されます。このことは、第4木曜日の午後、ILLシステムが利用できない時に、従来の方で依頼するよりも、翌日ILLシステムで依頼する傾向にあることが窺えます。



JP著者名典拠参照ファイルの更新、及び流用入力時の 注意点について

9月24日にJP著者名典拠参照ファイルの一括更新を行いました。

更新後のファイル内容は1977年度以降のJAPAN/MARCに収録された書誌データの標目形をセンターで変換したもので、レコードは以下の項目からなります。

1. 標目形(書誌データにおける著者名に関する事項) 名称、付記事項、および名称のヨミからなる
2. 標目形から推定される属性
3. 標目形が最初に著者名に関する事項として入力されたJAPAN/MARC書誌データの標題、出版者等、出版年、および全国書誌番号

なお、これらの参照レコードを使用される場合、以下の点にご注意下さい。

重複レコードの扱いについて

JP著者名典拠参照ファイルの中に重複レコードが存在する場合があります。この場合は、それぞれのレコードを実際に確認して正しいものを選択して下さい。

重複の原因は、システムが「同じ標目形であり、かつ同じ標目形のヨミを持つもの」を重複として削除しているため、これらが一部でも異なる(ワカチガキなども含む)場合、別のレコードと認識し、削除しないためです。

(例)ヨミのワカチが異なる場合

```
<IN05146196> RECST:n  
HDNG:広島県社会教育学会 // ヒロシマケン シャカイ キョウイク ガツカイ  
TYPE:c  
NOTE:「生涯教育への転換」(ぎょうせい 1987. 11)  
NOTE:JP88011277
```

```
<IN0493631X> RECST:n  
HDNG:広島県社会教育学会 // ヒロシマケン シャカイ キョウイクガツカイ  
TYPE:c  
NOTE:「日本人のいきいきライフスタイル」(第一法規出版 1987. 8)  
NOTE:JP87050116
```

また、団体標目の中には、内部組織名を副標目(間に`.'を持つ)としているものがあり、1985年以前と86年以降で同一組織の標目が複数存在している場合があります。

この場合は、副標目の形式ではないものを統一標目形とし、副標目の形式のものはSFフィールドに記入します。

(例)副標目の有無

```
<IN04299158> RECST:n
HDNG:文部省学術国際局 // モンブシヨウ ガクジュツ コクサイキョク
                                     ←この形式を選択。
TYPE:c
NOTE:「学術雑誌総合目録」(丸善, 1986. 3)
NOTE:JP86049448
```

```
<IN00006291> RECST:n
HDNG:文部省.学術国際局 // モンブシヨウ.ガクジュツ コクサイキョク
TYPE:c
NOTE:「大学図書館実態調査結果報告」(文部省学術国際局情報図書館課, 1977. 3)
NOTE:JP77000853
```

属性コードについて

属性コードが実態にそぐわない場合があります。

この場合は、実態を表す属性に修正して下さい。

属性コードは、標目形が姓・名で分かれているものについてはTYPE=`p'、分かれていないものについては、標目形の後に`('があり、その直後がアラビア数字のもの(出生年等)についてはTYPE=`p'、`('が無い場合、および`('の直後がアラビア数字以外の場合についてはTYPE=`c'という形で処理しています。

そのため、姓名の区別がなされていない名称については、個人名であってもTYPE=`c'となっている場合があります。

また、団体名については、その直後に創立年が付記されている場合、TYPE=`p'となります。

(例)個人著者標目が団体として扱われている場合

```
<IN0556358X> RECST:n
HDNG:そのまんま東 // ソノマンマ ヒガシ
                                     ←ヨミが姓名で分かれておらず、付記事項がない
TYPE:c
NOTE:「ビートたけし殺人事件」(太田出版, 1977. 3)
NOTE:JP88050900
```

団体著者標目が個人として扱われている場合

```
<IN07120579> RECST:n
HDNG:黎明会(1918年) // レイメイカイ ←標目形の後に付記事項があり、カッコの
                                     直後がアラビア数字である
TYPE:p
NOTE:「黎明講演習」(竜溪書舎, 1990. 3)
NOTE:JP91010673
```

標目の修正について

JP著者名典拠参照ファイルは他の参照ファイル同様、著者名典拠詳細表示画面でCREATEコマンドを発行し、「目録情報の基準」に適合するように必要な修正を行った上でリンク作成作業を行います。その際、標目を修正した場合は、必ずその修正の根拠となった情報源をNOTEフィールドに記入して下さい。

JP著者名典拠参照ファイルに収録されているレコードの標目形は全てNOTEフィールドに記された資料に基づいています。したがって、標目を修正した場合にはどの情報源に拠ったかを明記して下さい。

CPYNTフィールドの記述内容について

今年度の目録システムの機能強化において新設した「CPYNTフィールド」には、劣化資料、署名入り資料、限定番号入り資料、落丁・残欠等、記述対象特定コピーの特異性に関する注記を記述することができます。記述にあたっては必要な場合には固有のコードや文法を設ける予定にしております。

今回、国立大学図書館協議会「資料の保存に関する調査研究班」から以下の方法で利用を行いたい旨協議があり、具体的な入力方法について両者で検討を行った結果、次のように決定しましたので、その内容について紹介します。このフィールドに記述された意味内容を理解する一助としていただければ幸いです。なお、以下で紹介する入力方法のうち、「ACID:」という定型導入句よりも後の記述の方法については、国立大学図書館協議会のメンバー以外には拘束力を持たないことを明記しておきます。

また、今回は酸性紙劣化に対応するコードとして「ACID:」をセンターで設定しましたが、そのほかにコードを設定した場合は、順次お知らせします。

〔内容〕

1. 対象となっている資料

各国立大学で所蔵するすべての図書館資料の中で、半永久的に保存すべき資料と判断するもののうち、酸性紙による劣化が見られる資料が該当します。

2. CPYNTフィールドの記述方法

1. 保存を必要とする酸性紙劣化資料であることを示すために、フィールドの先頭から ACID: と入力する。
2. その後に劣化の状態(AかB)を入力する。
3. 自館独自の保存対策が施されている場合は、その内容を記述の最後にカッコでくくり、具体的、簡潔に入力する。他の媒体へ変換した場合(マイクロフォーム、光ディスク等)がこれに当たる。
4. 記述の終わりは必ずピリオドとする。
5. 入力はすべて1バイト文字を使用する。
6. 図書の場合はVOLごとに状態を入力する。
7. 雑誌の場合は1年次を単位として状態を入力する。

3. 具体的な記述例

1) 図書

1 CPYNT:ACID:A.

酸性紙劣化資料であり、劣化の状態がAである。

2 CPYNT:ACID:B(MICROFORMED).

酸性紙劣化資料であり、劣化の状態がBである。

保存対策としてマイクロ化が行われている。

2) 雑誌

1 CPYNT:ACID:A.

所蔵分全てについて酸性紙劣化状態がAである。

2 CPYNT:ACID:B:1860-1875,1890-1895(PHOTOCOPIED).

所蔵の中で1860-1875,1890-1895のものは劣化しており状態はBである。

保存対策の一環としてコピーを持っている。

3 CPYNT:ACID:A:1944-1948/B:1953,1962-1963.

所蔵の中で1944-1948のものは劣化しており、状態はAである。

また、1953,1962-1963のものは劣化しており、状態はBである。

4. 劣化の状態の区分

劣化の状態としてAとBが設定されていますが、その内容は以下のとおりです。

A・・・劣化が進行中

1. 書籍ページの周辺余白部分から印刷部分に向かって黄色、または薄茶色に変色が進行している。
2. ページ全体が黄ばんだ褐色で劣悪原材料・薬品等が使用されたと考えられる腰の弱い洋紙である。
3. ページ全体に多数の黴状の小さな斑点変色が見られる。

B・・・劣化が著しい

1. 書籍ページの周辺が焦げ茶色に著しく変色している。
2. ページを開くと周辺部等が剥離し、のどの部分が弱体化しており修理不能である。
3. 印字部分のインクが行間や裏に滲んで全体が褐色を呈している。

平成4年度第2回総合目録小委員会の審議内容

日時：平成4年9月21日(月)13:30～17:30

1 ILLシステムの開発計画

研究者等がIRを利用しながら自分の所属する図書館へILLのデータを送信すること(申込)ができるようにする、という今回の開発項目について詳細を検討した。

この機能の運用にあたっては、予め研究者等と所属する図書館との間で申し合わせをした上で、図書館側が「申込」の権限チェックテーブルに登録することで運用するものとして、

1. 連絡先や会計的なデータ等の定常的な情報は予め権限チェックテーブルに登録しておきたい、
2. 依頼の際には、依頼の範囲(国内・海外)と送付方法(速達、FAX等)を入力するようガイダンスを出すようにしてほしい、

等の要望があった。

2 図書の懸案事項

1. 一つのシリーズ中に複数の出版者が属し、一連のシリーズ番号の下に図書を刊行している場合の親書誌の扱い
ニュースレター No.5 で公表してあるように「終期を予定しない集合書誌単位の作成は逐次刊行物の規定を適用する。」したがって、出版者の変更は注記するにとどめ、別書誌を作成しないことが確認された。
2. 親書誌の出版者の変更され、子書誌の刷りによってその出版者が違ってくる場合の子書誌の扱い
情報源中に出版者の変更に関する情報が記載されているか、あるいはリンク関係をたどって変更の事実が親書誌レコード上で確認できた場合には、子書誌は変更前の出版者のもののみを作成し、変更後の出版者については注記することとなった。

3 典拠レコードの修正指針

「慎重に修正しうるもの」、「修正に参加組織の点検・確証作業が必要なもの」の二つのレベルについて原案を検討した。その結果、参加組織に対する連絡方法、

点検・確証が必要となるレコードの実態等、現状をさらに調査した上で検討することとなった。

オンライン・システムニュースレターNo.35の訂正

オンライン・システムニュースレターNo.35の「目録所在情報サービスを利用するための新たな接続形態について」(p.2)の記事中、3行目の「DDX-Pの80年版規格」のアドレスに下記のとおり誤りがありました。

おわびして訂正いたします。

	記	
誤		正
313-7180	→	313-7108

新規参加組織ID一覧

7月27日以降目録所在情報サービスに参加した参加組織のID(FA番号)は以下の通りです。

(参加組織ID順)

平成4年10月1日現在

参加組織ID	参加機関名称	参加組織名称
FA005540	専修大学	図書館 生田本館
FA005551	専修大学	図書館 神田分館
FA007524	京都学園大学	図書館
FA008571	美作女子大学	図書館
FA009155	沖縄国際大学	図書館
FA012692	神戸芸術工科大学	図書館
FA013913	江戸川大学	附属図書館
FA013935	新居浜工業高等専門学校	図書館
FA013946	職業訓練大学校	図書館
FA01401X	福井県立大学	情報センター
FA014031	帝塚山短期大学	図書館